

政府は、新潟市の小学生女児殺害事件などを受け「登下校防犯プラン」を決めました。

子どもの被害は、15～18時の下校時に集中しており、この時間の子どもたちの見守り

りは、防犯ボランティアの高

齢化や共働き家庭の増加などで空白ができてしまいました。その空白を埋めるプランは①地域において官民一体となり連携を強化して子どももの安全を確保する取り組み②通学路の合

## 登下校時通学路の安全

同点検・環境整備③すべての人が「ながら見守り」④子どもたちに「自分の身は自分で守る」「子供110番の家」の活用を教える——などです。

子どもが、安全に安心して登下校できることが最も重要であり、子どももの見守りは、防犯ボランティアだけに任せることなく、多くの大人が見守りに携わり、子どもが犯罪に巻き込まれない環境づくりに取り組みましょう。

防犯一口メモ